

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス SOALA原田校			公表日 2026年1月9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		運営基準の広さを確保しております。また、指導室を区切る事で発達段階に応じた活動にも対応できるように配慮しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		運営基準である児発管、国から出されている運営基準は、管理者+2名の児童指導員です。これに加えて1名の正社員と1名のパート児童指導員を配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		玄関や各部屋への段差はなく、車いす等でも問題なく活動できるよう配慮しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃を徹底して行っております。また、教具や送迎車などは抗ウイルス、抗菌加工を施しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		静養室を準備しており、必要に応じて子どもたちの休憩の場として使用できるようにしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		社内自己評価システムを導入、また毎月の面談を実施し、職員全員がPDCAサイクルで目標設定と振り返りを行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		自己評価表のご回答ありがとうございます。結果につきましては会社のHP及び県にも共有しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日のMTG、毎月1回の管理者との面談、半期に一度の社長面談を行っており、常に業務改善に繋げております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		県からの運営指導にて、第三者の評価を受けております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		毎月一回の社内研修に加え、外部講師による階層別研修を受けております。また、虐待防止や支援に関する研修も受けております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		Instagramでの公表や、資料配布を行っております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		個別支援計画は半期に一度見直しを行っております。必要があれば随時相談を受け付け、支援に反映しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		会議の場を設け、利用者の方の願いを第一に考えながら職員全員で作成を行っております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		全職員がいつでも確認できるようファイリングしております。また、定期的に情報共有や振り返りを行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		社内の共通ツールを用いて記録に残し把握しております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインを踏まえて必要な支援を5領域ごとに提供しております。作成後はアセスメントを行っております。	

	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		毎日の活動やイベントなど活動プログラムは全員で話し合い作成しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		5領域の内容に沿って活動が固定化されないよう職員で話し合い内容を決めております。SSTや制作、運動遊びではパルクールやリズムジャンプを新たに取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		利用者の方の状況に合わせて、個別と集団どちらも支援できるよう支援計画の内容を全職員で話し合っております。実践したことに対する振り返りもミーティングなどで毎日行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝や夕方のミーティングで支援内容や役割分担など確認し、全員で連携をとって支援にあたっております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援をした後の振り返りを行っております。ミーティングや社内共通のツールを使い共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		活動の記録を毎日入力し、支援の改善につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		訪問や電話、支援報告書など様々な方法でモニタリングを実施しております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		担当者会議の前に利用児童の状況を資料にまとめ、管理者や指導員が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		関係機関との連携を図るため、支援に必要な情報をまとめたものを共有しております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。 また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		お子様の状況に応じて関係機関との連携を密に行っております。定期的に情報共有を行い、安心して移行できる体制を整えております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		定期的に訪問したり電話で話したり、情報共有に努めております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5			専門性の高い意見を取り入れながら連携を図っております。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		地域の公共施設の利用を通して地域の子どもたちと交流できる場を設けております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時だけでなく毎日の支援を写真や動画でも報告したり、月一回のヒアリングでお子様の成長や課題を共有しております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		毎月1回ペアレントトレーニングを実施しております。また、「そあらのひろば」という保護者の交流の場も毎月1回以上実施し、研修や交流できる機会を設けております。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に資料を提示しながらご説明させていただいております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		アセスメントを基にお子様、ご家族様にとっての最善の利益を考え支援計画の作成にあたっております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		アセスメントに基づいた児童発達支援計画の作成を行い、計画書を提示しながら説明を行っております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて相談支援事業所と連携を行い保護者様が安心して子育てに向き合えるようご支援しております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		毎月1回以上「そあらのひろば」を通じて、保護者様同士の交流、連携をお手伝いしております。またご家族の方の参加できるイベントも開催し、きょうだい同士での交流の場も設けております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		相談があった際には迅速に対応しております。すぐにお返事が難しい場合にも職員で話し合い迅速にお返事するよう対応しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		インスタ等のSNSを通じて活動内容を発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報保護の同意書をもとに慎重かつ丁寧に扱っております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		必要に応じて視覚情報の導入を行い意思疎通を図っております。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		土曜日のイベントの際などに外部のゲストティーチャーを招いております。また、親子参加型のイベントにおいてはきょうだい児の受入れも行っています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルをもとに毎月訓練を実施しております。イベントにも組み込み保護者様への周知も行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		月に1回マニュアルを基に避難訓練、防犯訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントにも服薬やてんかん等の状況を把握しております。職員間でも共通認識を図り、対応できるよう努めております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		該当のお子様に関しましては保護者様とも情報共有を行いアレルギー食品の除去や代用品で対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		年間を通じた安全計画を実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		面談の際にご説明することで周知しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット記入の際は全体で対策や再発防止に向けた会議を行い記録を保管しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		マニュアルを基に虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、会議の開催や虐待防止研修を実施しております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束の取り扱いに関しましては全職員研修を受け、実施する場合にも必ず本人や保護者への説明を丁寧に行ってまいります。	